

兵庫県立姫路商業高等学校校歌



松井 利男 作詞

秋月 直胤 作曲

一、青雲遙けき 播磨の海は

文化の潮の 脈うつところ

産業日本を 導きここに

世界を結ばむ 母校の使命

ああ 自主の道を 共にさきがけ

栄えある校風 築かむわれら

姫商 姫商 ああ 姫路商業高校

二、真白に聳ゆる 五層の城を

振り放け仰げば 光ぞ満つる

伝統正しく 承け継ぎここに

現世を厳しく あしたを開く

いざよ 友よ 友よ 希望に燃えて

無限の創造 讃へむわれら

姫商 姫商 ああ 姫路商業高校

三、池面ぞ清けき みどりの丘は

心の故郷 カの泉

ひとしき 理想に 挙りてここに

敬愛の誓ひ 今ぞ花咲く

いざよ 声揃へて 久遠の友情

母校の栄えを 謳はむわれら

姫商 姫商 ああ 姫路商業高校



松井先生と秋月先生は、西播磨の小学校及び中学校において数多の校歌を作っておられるが、県立高校の校歌は千種高校と姫路商業高校のみである。千種高校校歌の制定は昭和38年4月1日、姫路商業高校は同年11月25日である。なお、千種高校校歌の2番に、「自主敬愛の道ゆかむ」という行がある。言うまでもなく、本校の中庭に鎮座する石碑文字（第4代校長・上山勝先生揮毫・昭和62年2月15日建立）の典拠であるが、姫路商業高校の校歌1番に「自主の道」、3番に「敬愛の誓ひ」が見える。即ち、その生涯を通じて兵庫県同和教育の発展に命を燃やされた、作詞者である元兵庫県教育次長・松井利男先生（現姫路商業高校初代校長）が最も大事にされた信念の言葉であり、幼少の頃より培われてきた生活信条なのである。

「自主敬愛の道」— これは、両校の校歌に相通ずる松井先生魂の言葉として心して慈しみたい。（平成25年2月10日記）